

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		障害児通所支援なんてん（放課後等デイサービス）				公表日		2025 年 2 月 28日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		○	車椅子（バギー）利用者が多くなる場合は定員制限をしてスペースを確保している。	児童発達支援も同じフロアで活動するため注意が必要な時もある			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		基準を満たす様に配置数は多めにしている。	日によってばらつきはある。もう少し配置数が多いと良いと思うが、キャンセルもあるので、適切かと思う。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		バリアフリーはできている。	構造化については足りていない。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		限られたスペースであるが、明るく開放的な空間を保ち、常に清掃や整理整頓している。	より使いやすく楽しい空間を考えたい。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		○	個別部屋がないため、パーテーションを使用している。	部屋から出ていきたがる子もいるので、個別部屋があるといい。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		ミーティング、ケア会議、朝礼、終礼にて職員の話し合いの機会を設けている。	会議の内容を吟味し、より具体的な目標設定に繋げていくため情報を共有していく			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎年実施	アンケート結果を元に業務の改善を行う。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		朝礼・終礼、ミーティング、ケア会議を行い、日々意見交換を行い改善に努めている。	意見交換をし易い環境を整える。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		今後取り組んでいきたい。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		積極的に取り組んでいる。	今後も機会を設けて参加、法人内でも開催していく。			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		作成中、ＨＰにて公表致します。	作成中、ＨＰにて公表致します。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		分析しきれていない面もある。	十分に考慮して作成する。			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		職員全員で計画を評価・見直しを行う。ケア会議にて話し合い検討している。	「こどもの最善の利益」という観点を忘れない。			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		定期的に計画の見直しを行い、支援について問題点など共有してしている。	共有はされて、計画もあるが、児童によっては沿った支援ができていないということもある。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		個別に具体性を持ったアセスメントするためのシートを作成、使用している。	内容が適しているか等、アセスメントツールの改善も考えていきたい。			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		相談支援事業所からの支援利用計画を元に、放課後等デイサービスが提供できる必要な支援を考え設定している。	求められている支援を行えているかどうか、足りない点を補っていきたい。			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		毎月のミーティングで案を出し合い作成。年間で行事を考える取り組み。	話し合いの時間を増やせたらと思う。			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		季節ごとのイベントを取り入れている。	スタッフミーティングでアイデアを精査していく。			

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		ケア会議を行い、それぞれの状況に応じての個別・集団活動の計画を立てている。	個別支援がなかなかできていない。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		朝礼やボードにて確認している。	パートスタッフへの連絡不足の改善、役割分担や事前打ち合わせを徹底していく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		終礼を行い共有、経過記録を書くこと、lineで情報を共有。	次の支援に繋がる振り返りを行う。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		終了後、経過記録をかいて共有、活用し支援に繋げている。	記録からの支援へのつながりが弱いと感じる。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		半年以内で見直しを必ず行う。事前にスタッフ各自で評価をし、毎月のケア会議で意見交換をしている。	モニタリングにより利用者様、保護者様とのコミュニケーションを図って行きたい。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		難しい点もあるが、目指している。	地域交流などは検討課題。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		本人の意見を聞きながら自己選択を促している。	こどもが主体的に決めていける活動を考えたい。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児発管や看護師または子どもに精通している者が参画。	スタッフ全員からの情報も取りまとめて参画していく。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		医師の指示書をいただくことで連携。関係機関とのやり取りもある。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		保護者からの情報提供や学校のホームページより間違えないよう毎日確認と連絡を行っている。	年間計画を頂けるようお伝えしているが、なかなか頂けないことが多い。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		相談支援から基本情報や連絡を頂いている。	必要時にはいつでも提供し合えるよう連携を図る。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		グループの強みを活かして情報を提供している。	色々な事業所があるので利用者様に多角的に事業所を活用出来るようお伝えしていけるよう努力していきたい。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		相談できる関係。	研修に参加し助言の機会を増やす。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		外出の活動、公園などで関わりを持つ。ご兄弟などの関係者やボランティアを受け入れている。	近くに児童館があるが、本来の趣旨から外れているということで現在は利用を断られている。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		会議には必ず1人以上参加している。	今後も参加していきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時などお会いした時には必ず様子を伝えている	家庭や学校での様子を伺うようにしていく
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		送迎時や面談時にアドバイスなど行っている	保護者と共になって考えていきたい 会社内で情報を共有していく
保護者への	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時や面談時、また変更があった時はその都度説明している	丁寧に分かり易い説明を心掛けていく
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		アセスメントを行うこと、また普段からコミュニケーションを図り意向をお聞きしている。	今後も確認を怠らず行いたい。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		なかなかお会いできない保護者の方には文章を添えて説明。	直接お話しできるようにしたい。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		相談には真摯に対応し、できる限り支援につなげている。	普段のコミュニケーションからも相談し易い関係を築いていきたい。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○			父母の会は設立されていない。保護者会も少なく頻繁には行っていない。交流できる活動を考えたい。

説明等	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情や要望は直ぐに伝え改善に努めている。	今後も真摯に対応して参ります。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		毎月予定表と一緒に活動予定を配布している。活動の様子はSNSで発信。	これからもより詳しい内容でお伝えしたい
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人のファイルに整理し鍵付きの書庫に保管。	守秘義務に徹底していきたい。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		話す機会を多くして情報を共有	もっと配慮やスキルをあげていきたい
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	地域ボランティアの方との交流がある。	地域の方々にも知っていただけるような工夫をしていきたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		○	マニュアル等は策定、避難訓練を行い意識を高めている	見直しや、周知が足りていないので伝える機会を設ける。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		避難訓練は月に一度行っている。	訓練や備えの足りない部分の検討・見直しをしていく。訓練は不十分な為、定期的に実施したい。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		保護者、医者に確認している。	対応ができるように取り組みます
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		保護者との面談時に確認。	現在の状況を再確認したい。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		○	送迎車に安全ブザー設置。	安全計画の作成、訓練など行う。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○	医療的ケア児は酸素や非常食の預かり、オムツ使用児はオムツをバックで預かり備えるようにした。	安心して利用していただけるように取り組んでいく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		直ぐに記入し見える場所に掲示、情報共有している。	事故防止に繋がるよう注意喚起していきたい。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止委員会の設置。外部の研修に積極的に参加、社内研修等も行っている。	研修に参加し定期的に議題にも取り入れていく。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		契約時に説明を行い同意書にサインを頂き個人ファイルに保管している。	必要性を常に見直しながら取り組んでいく